新鋭機ジブローダー

運轉手は仕事に追はれる

三池港務所に去る六月から、新鋭搬炭機がお目見得している。それはジブローダー（積炭機）スタツカー（積込機）という機械で三池製作所が二・五〇〇万円の巨費を投じて製作したもので、この機械の登場で直接三川の貯炭場より、八個のベルトコンベヤーで港務所貯炭場や内港船積機に送られるのである。その搬出能力は一時間四〇〇トンで、これまでのローダーによると一時間八〇トン乃至九〇トンの搬炭能力に較べ実に五倍位の能力をもつ威力を発揮している。高さ約一〇メートル、重量一五〇トンの丁度片足ザリガニみたいなグロテスクな恰好をしている。この機械操作に当つているAさんは

この機械は常に企画をたてゝやらねばならないので、一寸でも油断は出来ません。一寸でも油断すると一日中機械に追いまくられて作業をしなければなりません。それで精神的な気の配り方に、別な作業と違つて気を使い心労が大きい。

とのべた。

組織を通じて廣い不買同盟を

私達を餌にする商業新聞を叩け

職、地域から憤りの声

各種商業新聞が九月以降一せいに現行二八〇円の購読料金を一躍三三〇円に引上げ五〇円値上げと、全く世論を無視した一方的処置を断行したのに対し「日頃高い高いと思つていた新聞を必要中の必要としてやむなく購読していたが、こう高くなつてはもう金を払つて読むにしのびません」という声が圧倒的に多く、ある主婦は「皆んなが迷惑する事を何故しなければならないでしょう」と訴へ、通松社宅の場合など小川あきえさんが音頭をとり「新聞はいりません」の紙札を玄関に貼つて隣近辺で申合せ、不買同盟を結びいまや勝立社宅をはじめ各地域でこの問題が真剣に取りあげられている。以下は各地域職場の声

小川あきえさん　誰が考えても三三〇円は高いです。今までこの種の闘いにはあまり動いていないので全く大衆を馬鹿にしている。大衆を無視した値上げなど全くもつてけしからんと思います。新聞社の主任の方が見えて種々と説明をして行かれたが今度の処置で商業新聞はやつぱりもうかるためにやつていると、その本質を明らかしたと思つています。私達を良いエサにするような新聞とは闘わねばなりません、不買同盟も一部だけでなく広く組織して積上げていくべきではないでしょうか。

紅葉丘地域分会長那須俊春氏　この際商業新聞の独善を排し国民総世論をもつて闘い彼等の間違いをあらためさすべきだ。

商業紙再認の秋

内特Tさん　大衆の世論の場であり　更に大衆の意思を反映した新聞でなければ売れないことは新聞屋自身知つているはずであるにも拘らず二〇%に達する値上げを断行したことについては憤りさえ感じます。この様に大衆の意志を無視した納得のいかぬ値上げに対しては断固反対すべきであり、私達もブル新聞の基本的な在り方を強く再認識する秋だと考えております。

内特Hさん　新聞は公器だといわれ、新聞自身常に「言論の自由」「国民世論の尊重」を叫びながら、たゞ単に増頁の理由からする不明朗な値上げに対しては、組合も抗議すべきであり、我々も地域その他で「値上げ絶対反対運動」を起すべきだと思います。

内特Yさん談　値上げ理由の増頁は単に広告面の拡充に利用される嫌があり、こゝからの増収と、値上げによる増収とで不当な利益を睨げようとする資本収奪の本質をこゝにも見ることが出来る訳です。値上げに依る私達の実質賃金の低下はまぬがれないのでこれをチャンスに新聞は止めます。

先ず私から止める

炭婦協Dさん　主人の給料は上がらないのに新聞代ばかり上がつて本当に困つています。三百三十円もあれば子供の学習や小遣い位出ますのでこの際止めたらと主人に言つています。地域分会の方々とも話合つて料金不払同盟（値上げ分）を作つたらどうでしょうか

資本収奪の本質を見る

採炭工Eさん　値上げ絶対反対です。三百三十円あれば毎月新刊雑誌を三冊買えますので新聞は止めました。組合は〃社会党新聞〃や〃みいけ〃機関紙その他の日刊充実を積極的に実現してもらいたい。このことは客観、主観を問わず労働者にとつて緊急の問題だと思う。

選炭工Bさん　この様な不当値上げには広範な市民運動を行うべきだ。大牟田の勤労都市としての実態から見て実現することゝ思う

三川鉱々外夫I君　八頁にするからといつているが、広告の頁が多くなる位だ、大衆が必要とする面が多くなる訳ではないらしい、馬鹿らしい話だ。

四山坑々員　ロクでもない政府のオベツカばかり取つて、皆んな買わんといゝに。

緑ケ丘炭婦協会員　十頁が五十円、そしてそれが広告ばかり、紙代は大して値上りしてないでしようが、何時でも常に大衆が馬鹿を見ている。

新港社宅Aさん　デフレ下に新聞料金を値上げされることは絶対反対です、取らないようにしたいと思います。

新港社宅Bさん　何とか大きく反対運動を盛上げて食い止めて戴きたいと思います。

子供も叫ぶ『平和』

勝立で平和の集ひ開く

全世界の人々の注意が戦争か平和かに集つていると言東と西の指導者の会議が開かれ、そして西の指導者達の話合が事新しく解決策も何も示さないのに対し、東の指導者達の話合では平和への熱意と共に可能性はより増大している。

吾々は本当の平和と云うものをおびやかしているのは誰であるかをはつきり知る事が出来よう。そして平和への希望はインド支那休戦の成功と共に益々世論を呼び起こしている。炭住街でもこの平和の問題は今やあらゆる闘争と合せて生活を守る闘いとして進められているのである。八月九日紅葉ケ丘の原水爆使用禁止、再軍備反対の平和集会がもたれた事を始め、同じ二十九日日曜日午前九時より宮浦支部大砂分会主催のもと炭婦協既成婦人会、PTA公民館、すべて大砂にある組織団体共催のもとに勝立一楽劇場で「平和の集ひ」の会が催ほされて凡そ二百名の参加人員で華々しくもよほされた。特に個人資格で長崎大会に出席した田中副分会長の報告、市議小宮生計氏の「平和は家庭から」の講演また日中友好協会会長玉置先生の講演を終つた後、子供会代表の宮園瑞子ちやんのいぢらしい声で「再び戦争が起らぬ様大人も子供も平和のために一生懸命努力しましよう」との宣誓を朗読　会場は一瞬緊張の波につゝまれた。尚当大牟田来演中の前進座の代表が見えられ「こうして皆様方にメツセージが贈られる機会を得た事を喜びとしております。皆様方のこの運動の発展して行く事を祈る旨のメツセージが届けられた。尚この大会に寄せられた好意と協力は一楽の座主が無償で会場を公開するという事もあり　劇団「ばぐるま」の熱演、歌をおぼえる会の出場、きはめて多彩な平和への希望は誰でもが胸にひめてその実現する事を願つている事がわかつた。集会の終つた後地域分会長の上田義光さんはこう語つてくれた。

始めははたしてどうだろうかと心配していましたが、やつぱりやつてよかつたと思います。平和と云うものは理屈ぢやないと思います。私達は自信をもつて進む事が出来るでしょう。

（勝立発）

企闘一周年蹶起大会

港務ABC分會で

残暑尚きびしい八月三十一日、港務支部船積手ABC分会では昨年の今日、即ち全組合員を憤怒のるつぼに落し入れた勧告状を発送「英雄なき一一三日の闘い」の火蓋が切られ、しかも港務社内一〇五名の被勧告者中僅か四名、揃ひも揃つてABC分会員という忘れ得ぬ闘いの歴史を記念し、控所前広場に於て復職者を中心に躍進決起大会を催した。

感激も新たに全員労働歌を合唱

吾々はあの苦しかつた英雄なき一一三日の闘いは終生忘れ得ぬ闘いの歴史として全組合員に刻みこまれている。現在反動吉田政府は労働組合弾圧を真剣に考えている独占資本も自からの利権擁護に汲々としている。かゝる情勢の中で炭労の新賃金闘争が進められる。吾々はあの団結と闘争精神を更に認識し闘かわねばない。今後の前進を期待する。

と力強い副支部長の挨拶を受け、復職者も長山英雄委員の

今後とも吾々はあの苦しい経験を通して闘い取つた事実を更に認識し、同迫り来る一大反動攻勢に対して今後とも皆さんと共に職場の中核として先頭に立つて闘う。

と確信をひれきし、大拍手の中に祝盃を上げ、数々の余興を繰りひろげ盛会裡に終了した。

頑張れ母ちゃん

港務支部平井炭婦協では、結成以来始めての体育大会を八月二十九日午前九時より港務所裏広場で開催された。競技種目はソフトボール大会で、父ちゃんや坊や達の声援に珍プレーが続出し、大衆動員さながらの張切りかたで、盛会裡に終了した。【写眞上＝ABC分会、下＝頑張れ母ちゃん】

好い子の遊び場

耕作者の協力で出來る

（勝　立）

勝立竪坑のヤグラを目の前に、今勝立社宅の一すみに子供の為の新しい運動場が出来ようとしている。これは去る七月半、宮の前社宅のPTAの発案提議により、同地域分会、炭婦協、公民館の三者と耕作者の人々の協力により、七月二十五日より夏休みを利用して着手したもので、以前はこゝに季節のうつり変りに種々の野菜や穀類が実を結んでいたが、今では凡そ二五〇平方米余の平地となり、人々は最后の仕上げにとトロツコ、スコップ、ツルハシの手にも力がこもつている。次はそこに作業する人々の声を聞いて見よう。

PTA・Aさん　夏休みを利用してやり始めたのですが、思つたよりも土地の中に土塊が多く、どうやらあと一週間でこの岡も平地に出来そうです。そのうちにブランコ台、スベリ台等も取りつけたいと思つています。又この周囲に出来れば桜の木等植えてすばらしい遊園地にとも思つています。

地域分会・Bさん　仕事から帰つてこゝに来るのですが子供がいてもいなくても子供の為めに皆さんが一生懸命やつているのを見ると疲れも消えてしまいます　それよりも忘れてならない事は田畑を耕作していた人々がこの作業に対して喜んで子供の為に提供してくれた事です。

この様に田畑を子供の為に提供してくれた人達も疲れた体を作業場に運ぶ組合員も、日々の生活に追われながらも作業に出てくる炭婦協の人達も楽しい夏休みも省みず大人と共に陽にやけた子供達も今日も明日も百人余りの人々の姿がトロツコ、ツルハシと共に実を結びつゝあり、やがて美しい汗の結晶の花が咲く日も近い。

中ソの土産話をもつて使命終り次第帰る

田中代議士からの便り

大牟田出身代議士田中稔男氏（左派社会党）は六月中旬より、ストックホルムの世界平和集会に出席その帰路、中共を訪問し次のような便りを、八月十九日北京発で宮川組合長宛消息をもたらした。

拝啓　御健闘のことゝ存じます。小生至極元気で、使命の達成に努力しております。社会党本部からの連絡により、党の訪華代表団のため、中国人民外交学会（招請主体）との折衝の任に当る目的をもつて北京に滞在しております。しかし、今夜のラジオ放送を聞いても、佐多外交局長が池田自由党幹事長に申入れたにも拘らず、旅券下附の見込みが立たない様子、実にシヤクにさわることです。もし、旅券の可能性がないと判れば直ちに帰国するつもりです。帰国の上は中国とソ連からの土産話が山程ありますから、どうぞ御期待下さい。

本日は中国煤鉱工会（日本の炭労に当る）に赴き、金主席以下幹部諸君と種々懇談致しました。炭労の話もしましたが、特に三池炭鉱労働組合の事を詳しく話して来ました。三池の炭鉱労働者が炭労の中でも闘争力が強く、彼等は自己の賃金その他労働条件のために闘うと共に、日本の平和と独立のためにも、国民の先頭に立つて闘いつゝあることを伝えましたところ、中国の炭鉱労働者の国際的友誼をぜひ伝えてくれという挨拶を受けました。

80日の激闘に　意氣愈よ旺盛

近江絹絲労組本部訪問記

三鉱労組、炭婦協の同志が行つた近江絹絲当てのカンパに集計された五万円を、炭労札幌大会に出席を機会に山下次長、松尾教宣部長、三川支部酒井支部長がこれを持参して、二十九日大阪の近江絹絲労組闘争本部を訪れた。当日は日曜日で各工場やビル側の窓は堅く閉されている。闘争本部の在る船場の各会社オフイスも人の気もない静かさであつた。

闘争本部には入る前吾々が注目したことは、玄関の真ちゆう板に刻みこまれた

『労働者の向上と民主々義のために日本紡績労働組合三万有余の叡智と団結を象徴して』

昭和二十六年十月完成

と刻み込まれた文字、それとその周囲に各単産から贈られた檄文が所せましと貼られていたことであつた。

たまたま組合長の上京。書記長は地方支部に出張で執行員の高村茂氏に面接し、吾々の来意に加え激励と持参のカンパ金五万円を手交したが、高村氏は感激に目をうるませて感謝した。席上高村氏より語られた経過を若干こゝに点記してみることにする。

現在は一二・〇〇〇名従業員中第二組合は一〇・二〇〇名で会社側の第一組合には僅かしかいない。そして殆んど活動という活動は今のところやつていない。

人権を守る闘いとして、且亦労働条件獲得の闘いに要求した項目は二十二項である。

一、我々の近江絹絲紡績労働組合（第二組合）を即時認めよ
二、会社の手先である御用組合を即時止めさせろ
三、会社が指名せる労働者代表の締結せる一切の規定を撤回せよ
四、拘束八時間労働の確立
五、タイム・レコーダーの即時復活と残業手当の支給、賃金体系の確立
六、合理的な退職金、旅費、宿直費規定の設定
七、有給休暇、生理休暇の完全実施
八、食堂の完備、更衣室の新設、住宅並に寮設備の改善拡充等福利厚生施設の充実
九、宿直室の完備、専門掃除夫及各寮の専属、炊事婦係即時配置
十、仏教の強制絶対反対
十一、夜間通学教育の自由を認めよ
十二、結婚の自由を認めよ、別居生活を強制するな
十三、ヘイキング、音楽、映画サークル等一切の文化活動を認めよ
十四、労働強化を強制する各種対抗競技を廃止せよ
十五、人権を蹂りんした信書の開封、私物検査を即時停止せよ
十六、密告者報償制度尾行等一切のスパイ活動強要を止めよ
十七、外出の自由を認めよ
十八、工場長に強制して行なはせる月例首切反対
十九、各課最低必人員の即時補充
二十、重役の人格を無視した言動及始末書濫発の禁止
廿一、自動車部員の社内寄宿を廃止し、社外寮に引き移すこと
廿二、自動車に対する傷害保険の即時加入

以上の二十二項目を六月三日会社に要求し、既に現在まで八十余日に亘たり深刻な闘争を続けているが、この間組合員がはつきりと意識したことは、組織労働者という誇りと、他の未組織労働者に団結することと、そのための勇気を与えたことは組合員が自負するに足ることであつた。同時にこの闘争がもし敗退した場合それは労働者の悲劇に直結するものである。同全国労働者の連帯的階級性については総評も又全繊維も一層声を大にして主張してもらいたいと語つていた。

同闘争の現段階では組合員（女工）の一人当り生活費用は一ケ月四・〇〇〇円を要しているようだが国外国内の同志から寄せられた生活資金カンパでこれに充てゝ組合員の闘争意欲は少しも衰えていない。当日は丁度夏川一族追放決起大会が開催されることになつていたので高村氏もそちらへ出席することになつており、吾々も近江絹絲闘争本部訪問の意義も十分果たしたので、心残りながらも日本紡績労働者はじまつての大闘争を闘い抜く同志の信愛の眼を背に受けて、日本経済のメツカ船場のビル場に林立する赤旗の中を通り抜け一路駅へ急いだ。『近江絹絲の同志ガンバレ』と念じつゝ！

迷子のボールやーい

宮浦のグラウンド

各支部とも昼休みは、ソフトボールで大変な賑はいである。宮浦支部でもグラウンドでは鉱山学校の生徒諸君をはじめ、組合員でグラウンドは狭い位である。ただ困つたことは、短い昼休みに草ぼう〳〵たるグラウンドのため、試合運行よりもボール見つけに大変で、試合中「タイム」が一寸、一寸かゝる。なんとかならないものかとみんなでぼやいている。これとうつてかわつてテニスコートは大変きれいなもので、こんな不均合が何故出来るのか、担当係の偏見がなければよいが。

三作で謡曲の練習

昼休みになると、製作支部の二階より謡曲が聞える。これは三機の浜田君外謡曲同好会の有志がお互に練習をしているのである。この謡曲は約半年ほど前より白川に住んでいられる米良先生を招請して端謡から開始して一応一般の人々も終つたので、この三ケ月前から愈々本番に入つたわけで、暑気さましには快適だそうである。

【写眞上＝六山対抗予選、下＝謡曲練習】

三作最終回で破る

火を吐く六山對抗豫選

来たる九月十五日より二日間、東京に於て開催される全国三井炭鉱軟式野球大会に三池の出場チームを決定する勝者決定戦は延命球場に於て去る廿一日午后四時より、第一試合四山鉱チーム対本所チームで火蓋を切つた。

この試合に四山鉱チームは二名の投手を繰出して本所チームの打撃を封じようとしたが、かえつて投手のコントロールの不調に乗ぜられ、本所チームは適時安打と敵失に得点を重ね5対1のスコアーで本所チームが第一戦をものにした

続いて第二試合の製作所チーム対三川鉱チームは戦前の予想に違はず投手戦となり、双方応援団を息詰る様な熱戦に追ひ込んだ。まずこの試合に一点を先取された三川鉱チームは、製作所チームの堅実な守備と回を重ねる毎に古賀投手のコントロールの冴えを見せ三川鉱チームの打撃を完封してこのまゝ強引に押し切るかの如く見えたが、最終回に到り猛然起つた三川鉱チームは二死後に到り2安打と敵失に1点を回復して同点となし、場内熱狂の裡に続く中堅手木原の二塁打は貴重な一点を叩き出して2対1と三川鉱チームの勝利となり、さしもの熱戦に終止符をうつた。製作所チームとしてはまことに諦らめきれぬ一戦だつた

尚三日第三試合を本所チームと港務チームと行い、この勝者が第四試合で三川鉱チームと対戦し、両者によつて優勝戦を行う。

（写眞　宮浦庭球場＝上と野球場）

絶讃博した〝蟹工船〟

今後もどし〳〵いゝ映畫を

小濱社宅でニュースカー映寫会

去日（八月二十六日）小浜南社宅広場に於て、三鉱労組のニュース・カーに依る映写会が催され、多くの組合員及家族を集めて好評のうちに終つたが、映写時に於ける二、三のアンケートを拾つて見た。

仕繰工Aさん　今晩の映画は有名な左翼作家であつた『小林多喜二』の代表的作品を映画化したもので、その点吾々組合員大衆の階級的意識の昂揚に役立つたと思いますがこんな有益な映写会は今回だけに止らず、第二、第三と時間と予算の許す限り続けて戴きたいと思います。

仕繰工Bさん　組合からわざ〳〵出て来てもろて見せて貰ゆるけん、こげんよかことつありません。みんなで力を合せたらどんなことでも出来ると言うことが良うわかりました。

炭婦協Cさん　私を始めみなさんは家事に追はれていますので映画なども仲々出てゆけません。今晩の様に組合から来て貰ひますと涼みがてらでもみられますし、経済的でもあり、子供達もどれ程喜ぶか知れません。

採炭工Dさん　こんな良い映画を社宅でやつて貰つたら私達の様に仕事のきつい者には助かります。これからさき当分は時候も良くなりますので少々慾が深いかも知れませんが、週に一回位続けて戴きたいと思います。

この外『進歩的映画だけに止らずいろ〳〵の映画も同時にやつて戴きたい』とか『今度だけでなく永久に続けて行つて貰ひたい（冬季は講堂などで）』とか、沢山の要望があつた。

つまるところ大衆は文化については大きな関心を持つているが、経済的余裕と時間を持たないと云うに尽きる様であつた。

朝日丘子供会體育大会

八月二十九日、夏休みの最後を飾る宮浦支部朝日丘子供会主催、地域分会、炭婦協後援の男子ソフトボール大会、女子ドッヂボール大会を笹原小学校運動場で開催した朝日丘全地域を六班に区分し、優勝旗、優勝杯をめざして、子供ながらも炎熱にもめげず、赤い地域分会並びに炭婦協の班旗を打ち振る組合員家族の熱狂的な応援の下日頃の技能を発揮し、大熱戦ぶりであつた。男子のソフトボールも女子のドッヂボールも群雄をなぎ倒し、共に第一班が見事優勝旗優勝杯獲得の宿志を遂げた。又それに引続き、子供会選抜の選手チームと地域分会の精鋭との対戦を行つた。さすが昨年の企闘を闘い抜いたおつツアん連中だけあつて、ソフトボールにも団結の力を発揮し、熱戦のすえ子供会選抜チームを一しゆうし、午後二時三十分大会の幕を閉じた。

今週の映画

△セントラル…（8—14）フランス航路、北京超特急
△大東地…（8—14）若旦那と踊り子、歌ごよみいろは若衆
△太陽館…（8—14）花の白虎隊、ウツカリ夫人とチャツカリ夫人
△銀星…（7—11）今宵よ永遠に、私刑される女、物体X
△宇宙館…（8—11）伊豆の踊り子、水戸黄門漫遊記
△名画座…（8—14）霧の小次郎、うたしぐれ若衆、地獄谷の対決

家計簿をつけよう

四山炭婦協で生活指導

八月三十日午前十時より四山支部炭婦協では友愛クラブ階上の大広間にて、本社生活指導係の飯田先生を招いて講習会を開催した。生活苦と借金苦の中で家庭生活のやりくりに頭を悩している婦人にとつては福の神に舞込まれた思いだつたろう。午前九時会場の整備を行つていた支部執行員もまだ一時間あるからと呑気に構えていた所に大島分会の一団を先頭にぞろぞろと会場に入つて来たのには面喰つてしまつた。九時三〇分には階上広間は埋め尽くされて定刻十時には廊下板の間に至る迄大きな生徒さん達で満員である。一時間四〇分に亘る飯田先生の話は真に堂に入つたもので、お寺の坊さんと漫談家、講談師を混合したようにと云えば誰にも判るだろう。金のたまらぬ七つの話、金のたまる話から内職金の使い方に至るまで先生も大きな生徒さん達も皆にこにこと最後まで一人の退席者もなく何かしら帰りたく無い、もつともつと何時までも聴き度いと云つたような顔であつたが恰度時間と相成りまして又あらためてお目通りと云うことに成つて終つた。南場支部長始め各分会の役員の方方も非常に喜んで家計簿を付けるグループを早く作りたいと意気込んで居られる。これを機会に一人でも多く家計簿をつけて金のたまらぬ七つの話の一ケ条のように後で〳〵型にならぬように心掛けて戴くよう願つてやまない。

（長崎厚生部長発）

全員加入で結成

港務四山炭婦協

港務支部執行部の本年度の活動方針として、炭婦協未結成地域の結成促進を旗印に着々とその歩を進め、主婦の理解を求めていたが、八月二十八日四山社宅で港務支部四山炭婦協を全員加入のもとに結成され、今後の活動が期待されている。

当日は道山副支部長が支部執行部を代表してメツセージを贈つた外各友誼団体より激励があり、渋田教宣部長の指揮で労働歌を合唱し散会した。

役員左の通り

分会長　市川カヅエ
副〃　井上キクヨ
会計　松川フミ子
監査　前田リツ子

監房の人の名を呼び

地の割れるほど　デモの足踏み鳴らし

企闘の思出「座談會」つづき

A　その翌日　国警が五百名出動した時には本当に心の底から憤を感じました。組合員は何にも武器を持たないのに、相手は催涙弾、鉄兜に身を固めて。

B　黑いのと国防色のと二通りありました。

A　催涙弾の攻撃には手拭等を用意して置きました〃子供を背負つた人も帰ろうとしないし、一番緊張したのは午前二時頃で、その頃が又手薄で心配していましたが、夜の白む頃宮浦の一番方が来た時は、同じ労働者の血の繋りが身に泌みて嬉しいやら心強いやら、遠くからピツピツワツショイの声が聞えて来た時は涙がポロ〳〵出ました。

B　その晩は寒くて焚火をたいて居ましたが、敵が攻撃しそうになると直ぐ消してスクラムを組んでね。

A　六時頃谷町の方に下りると鉄兜の警官がズラリと並んでいて、「小母さんきつかつたね」と言つたり又労働歌を歌つたりしていましたが、その警官達も何かホツとした様な気持で、この人達も命令で来たんだと思うと個人的には憎めませんでした　随分寒かつたし、警官には薪の用意がないので棍棒を燃やそうかと言つてたそうです。

司会　所謂山ノ上・勝立事件で検束者の出た時は？

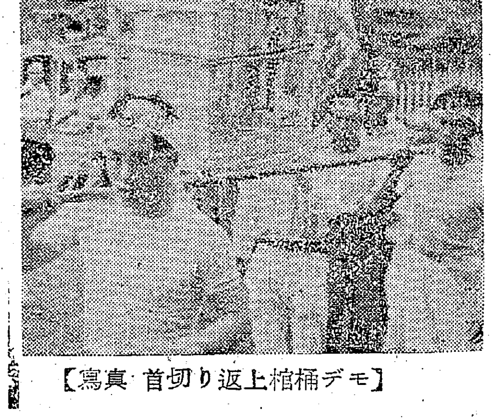
A　炭婦協の本部役員で山ノ上事件の検束者に面会に行つた者は涙が出て、良う言葉も出ず握手して別れて来ましたが、今迄全然顔も見た事のない人が何か身内の様な感じで、「頑張つて下さい」と云うのがやつとでした

遂に勝つ!!

疲れも一度に吹飛ぶ

C　十一月廿四日勝立置店事件の拘留理由開始公判後の警察署に対する抗議デモの時は、監房の中迄届けと頑張れ〳〵と声の涸れる迄叫びました。

B　その時警官が玄関にピケを張つていてデモ隊の行く方に右往左往していて丁度鬼ゴツコ見たい。



【寫眞　首切り返上棺桶デモ】

E　監房の中の人の名を叫んで、地面の割れる程足を踏み鳴らしてね。

司会　十一月廿七日の完全勝利の時は。

I　ラジオで聞いて皆で集つて喜び合いました、今迄の苦労が一辺に吹き飛んで終いました。

C　一時は今年中に勝つだろうかと思いました。

B　負けると云う事は全然考えませんでした。

A　闘争中の指名者の人達の気持は深刻でしたでしようね。

E　坐り込み者の前に出ると涙が出て頭が上りません。

J　兎に角ピツピツワツショイの声を聞くと胸が一杯になつて。

K　子供達迄が後では積極的に参加して。

A　本所の最后迄の坐り込みは忘れられませんね。

B　家事が十分出来ませんので、手取り早いサンマを買つて。

C　サンマが一番御ち走でしたね

L　主人もそれで不服は言つて呉れませんし。

F　私は前日倒れて医師に注射して貰つて、その翌日には直ぐ出動、一同よう毎日出ましたね。

B　今年は暑い〳〵と云つて良く氷を食べますが、去年は氷も食べず、暑いとも感じませんでした。去年は鉢巻が傘がわりでね。

A　今後は、吉田政府が続く限り組合に対する弾圧は益々激しくなりましようし、去年の事を忘れず、より一層団結して一緒に闘つて行きましよう。

分会長の挨拶を最後に当時を偲んでの座談会を終る。